

北方領土問題に関する世論調査

調査時期：平成30年10月18日から平成30年10月28日
調査対象：全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人
有効回収数(率)：1,663人(55.4%)

話は変わりますが、次に「北方領土問題」に関してお聞きします。

1 北方領土の認知度について

(全員の方に)

(【資料】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料】

北方領土は、北海道本島の北東洋上に位置する歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島から成る我が国固有の領土です。第二次世界大戦末期の昭和20年(1945年)に、ソ連が当時有効であった日ソ中立条約を無視して対日参戦し、北方領土を占拠し、ロシアとなった現在もなお法的根拠なく占拠し続けています。

この北方領土に関する問題の解決は日露関係最大の懸案となっており、政府は、北方四島の帰属の問題を解決してロシアと平和条約を締結するという一貫した基本方針の下、強い意志を持ってロシアとの間で外交交渉を行っています。また、外交交渉を支える国民世論の結集と高揚を図るため、官民を挙げて参加型のイベントを始めとする各種の広報啓発活動に取り組んでいます。

その一方、戦後73年が経ち元島民を始めとする関係者の高齢化が進むとともに、国民全体で見ても戦後生まれ世代が大多数となる中、今後、この問題をいかに若い世代に引き継いでいくかが大きな課題となっています。

Q1【回答票1】あなたは、北方領土をロシアが法的根拠なく占拠し続けている現状についてどの程度知っていますか。この中から1つだけお答えください。

(12.9) (ア) 現状について、よく知っている

(52.6) (イ) 現状について、ある程度知っている

(31.3) (ウ) 北方領土について聞いたことはあるが、現状までは知らない

(1.0) (エ) 北方領土について全く聞いたことがない

(2.3) (オ) わからない

→ (Q2へ)

(SQへ)

(Q1で「(ア) 現状について、よく知っている」、「(イ) 現状について、ある程度知っている」、
「(ウ) 北方領土について聞いたことはあるが、現状までは知らない」と答えた方に)

SQ【回答票2】あなたは、北方領土について何から情報を得ましたか。

この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(n=1,608)

- (88.4) (ア) テレビ・ラジオ
- (58.3) (イ) 新聞
- (16.1) (ウ) 本や雑誌などの出版物
- (18.8) (エ) ホームページやインターネットのニュース
- (4.3) (オ) SNS (Facebook、Twitter、Instagramなど)
フェイスブック ツイッター インスタグラム
- (25.4) (カ) 学校の授業
- (8.5) (キ) 家族・知人
- (4.5) (ク) 広報・啓発イベント
- (5.7) (ケ) 広報・啓発刊行物 (パンフレットやリーフレットなど) やポスター
- (1.6) (コ) 空港、街角などに設置されているモニターやビジョン
- (0.6) その他 ()
- (0.2) わからない

(M.T.=232.3)

2 北方領土に関する広報啓発活動への参加意欲について

(全員の方に)

Q2【回答票3】北方領土に関する参加型の広報啓発活動に参加することについて、あなたの気持ちに最も近いものをこの中から1つだけお答えください。

- (1.1) (ア) 広報啓発活動の情報を積極的に探して、参加したい
 - (7.5) (イ) 機会があれば、できるだけ参加したい
 - (17.2) (ウ) 誘いがあれば参加しても良い
 - (59.0) (エ) あまり参加する気はない
 - (8.3) (オ) 絶対に参加したくない
 - (4.2) どちらとも言えない
 - (2.6) わからない
- (Q3へ)
- (Q3へ)

(Q2で「(エ) あまり参加する気はない」、「(オ) 絶対に参加したくない」と答えた方に)

SQ【回答票4】参加したくないと思う理由は何ですか。

この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(n=1,120)

- (35.2) (ア) 内容が良くわからないから
- (26.3) (イ) 参加する意義を感じないから
- (17.9) (ウ) 自分が参加しなくても他の誰かがやってくれると思うから
- (15.4) (エ) 北方領土の問題に関心がないから
- (14.5) (オ) 政治的な運動に参加することについて、家族や周囲の理解が得られないから
- (6.5) その他 ()
- (4.7) 特にない
- (1.1) わからない

(M.T.=121.7)

3 北方領土に関する広報啓発活動への参加促進について

(全員の方に)

Q3〔回答票5〕今後、より多くの方に北方領土に関する参加型の広報啓発活動に参加してもらうためには、どのような取組が効果的だと思いますか。この中から**いくつでも**あげてください。(M.A.)

- (19.9) (ア) 参加型の広報啓発活動に関する情報提供の充実
- (59.2) (イ) 新聞、テレビやラジオなどを用いた北方領土の問題についての広報・啓発の充実
- (33.7) (ウ) ホームページやSNS (Facebook、Twitter、Instagramなど) フェイスブック ツイッター インスタグラムを用いた北方領土の問題についての広報・啓発の充実
- (42.9) (エ) 北方領土の問題についての学校教育の充実
- (41.1) (オ) テレビや新聞で北方領土の問題について取り上げてもらうための取組
- (21.8) (カ) SNS (Facebook、Twitter、Instagramなど) フェイスブック ツイッター インスタグラム上で北方領土に関する情報について取り上げてもらうための取組
- (10.4) (キ) イメージキャラクターやタレントなども活用した、気軽に参加できる広報啓発イベントの充実
- (29.5) (ク) 元島民の体験談など、当事者の生の声が聞けるイベントの充実
- (9.1) (ケ) 日頃から広報啓発活動をしている団体関係者や公的機関の代表者などが一同に会する大会の充実
- (0.4) その他 ()
- (4.0) 特にない
- (4.4) わからない (M.T.=276.4)